

# 新徳島ロープウェイ

## 安全報告書 2019



奥飛観光開発株式会社

## 1. 利用者の皆様へ

平素は、新穂高ロープウェイをご利用いただき誠にありがとうございます。

弊社は、安全、安心の確保を経営理念のトップに掲げ、全社員一丸となって安全輸送の向上に取り組んでおります。又、「自然環境との調和を図り、安全と笑顔のおもてなしでお客様に感動を伝えます。」を合言葉に、お客様に安心に、かつ快適にご利用いただけるよう、輸送サービスの充実にも努めております。

今後も、ソフト及びハード両面での不備・不足の解消とレベルアップを目標に、更に努力を続けてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成30年度の安全輸送に対する取組みを広く皆様にご理解いただくために公表するものでございます。

皆様からの声を更なる安全に役立てたく、忌憚のないご意見ご感想を賜れば幸いに存じます。

奥飛観光開発株式会社

代表取締役社長 横幕 信樹

## 2. 安全に関する基本的な方針

### (1) 行動規範

社長、役員及び社員は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し、輸送の安全確保を最優先に、お客様と地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指します。

#### 【行動規範】

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

## (2) 安全方針と重点施策

当社では、安全管理委員会において、安全方針・安全重点施策を策定し、輸送の安全確保に取り組んでおります。

### 【安全方針】

法令遵守と安全最優先  
安全マネジメント体制の推進

【安全重点施策】 平成30年度の安全重点施策は、以下の3項目でした。

### 平成30年度安全重点施策

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- 2 習慣化している安全基本動作（指差、称呼・確認の一連の動作）を引き続き厳正に実行する。
- 3 指示・連絡・報告を徹底すると共に“スピード感”をもって情報を共有化し、継続的な安全性の向上を目指す。

## (3) 安全重点施策の実施結果

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。  
法令に基づく規定類（運転取扱細則・運転取扱内規等）の遵守及び習熟を図るため、安全運行講習を4月（輸送の安全を確保する為の基本的な方針等）及び11月（安全管理規程類等）に実施しました。なお、新入社員には、配属時に業務規定類を事前配布し、4月～7月と11月の5回に分け、規則・社則に関する教育を実施しました。
- 2 習慣化している安全基本動作（指差、称呼・確認の一連の動作）を引き続き厳正に実行する。  
継続実施するヒヤリハットの抽出を通し、ヒューマンエラー・施設故障の情報を集約。営業終了後、各課一斉に行うショートミーティングでは、具体的な不具合への対処や経過報告、情報共有を継続的に行っています。ヒューマンエラー撲滅を図る一環としては、11月の安全運行講習終了後、運転業務に携わる場合の注意事項の再確認を行いました。
- 3 指示・連絡・報告を徹底すると共に“スピード感”をもって情報を共有化し、継続的な安全性の向上を目指す。

OJTを通じ、担当駅長（4ヶ月毎に交替で実施しています。）指示による注意項目や目標項目を設定。評価シートを通じ連絡・報告の徹底を図っています。また、運行中においては、モニタリングシステムを活用し、お客様の流れや搬器の状態等を把握。IP無線網を用いて相互連絡を取り、安全・安定したお客様の輸送を最優先事項として業務にあたっています。11月の安全運行講習終了後、運転業務に携わる場合の連絡報告システムの再確認を行いました。

#### （４）令和元年度 安全重点施策の策定

平成30年度安全重点施策の実施結果を踏まえ、さらなる安全確保体制の向上を目指し、令和元年度安全重点施策を策定いたしました。

これまでの施策の取り組みにより、それぞれ一定の成果を上げてきていますが、マニュアル等の見直しや安全に関する情報共有の指示・連絡・報告の更なるスピードアップ。習慣化した基本動作に対し、改めて安全を意識した取り組みとし、継続的改善を図ってまいります。

また、係員の自発的な行動につなげられる、主体的な教育・訓練の充実を図ります。

#### 令和元年度 安全重点施策

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- 2 習慣化している安全基本動作（指差称呼・確認の一連の動作）を引き続き厳正に実行する。
- 3 異常気象時、悪天候時に適切な判断がとれる仕組みを構築し”スピード感”をもって情報を共有化し安全性の向上を図る。

### 3. 当社の安全管理体制

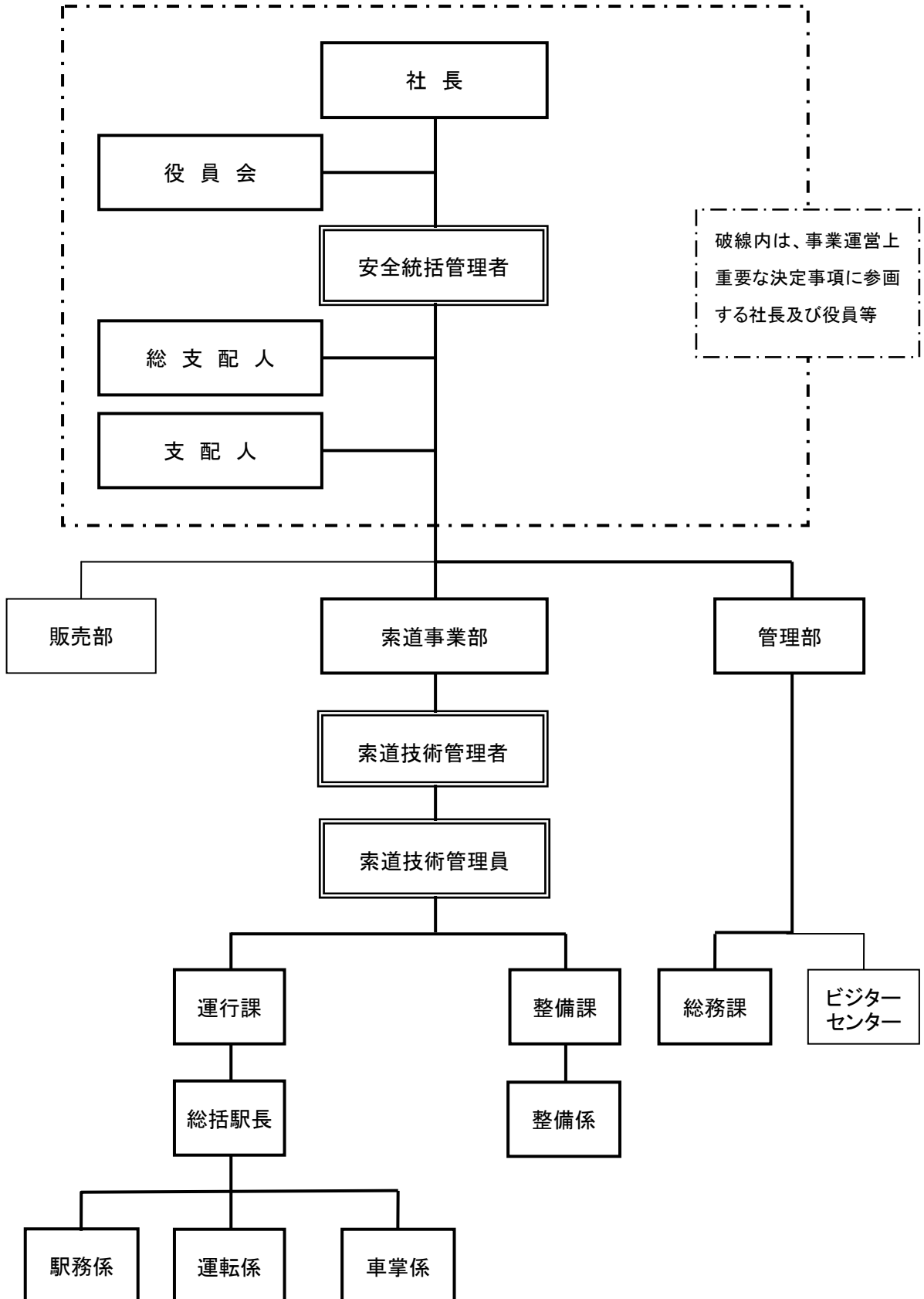
#### （１）安全管理体制の確立

当社では、社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の役割及び権限は、社内規程によりその責務を明確にしています。

安全管理委員会において、より一層の運行の安全確保に努めるため、安全マネジメント体制の維持・向上を図る施策を推進するとともに、安全運行に係る事項の情報共有、原因究明・対策の検討を実施しております。

# 新穂高ロープウェイ

## 安全管理体制図



## (2) ヒヤリハット報告

当社では、各部署からのヒヤリハット報告を集約し、安全のための対策を策定しております。平成 30 年度は 147 件の報告がありました。これら得られた情報を、PDCA サイクルに繋げていくことにより、さらなる安全活動の活性化に取り組んでおります。

## (3) ヒヤリハット報告による改善事例

【報告】 搬器へのウェイト積載判別プレート表示

【実施】 新穂高ロープウェイ全駅(4 箇所)で実施。

強風時対応とする、搬器の揺れ抑制用ウェイトの積載の有無を執務室内の目立つ箇所に表示する手順を確立し、それに対する係員相互の情報共有と改札時における注意を促し、乗車人員カウントの失念（重量超過）防止を図った。



白樺平駅設置箇所（出札内からホームへの出口扉横）



ウェイト積載中表示



ウェイト未積載表示

## 4. 平成 30 年度 事故等の発生状況

### (1) 索道運転事故

平成 30 年度、索道運転事故の発生はありませんでした。

## (2) インシデント（事故の兆候）

平成 30 年度、該当するインシデント事項はありませんでした。

## 5. 安全確保のための取組み

### (1) 人材教育・育成

安全基本動作である指差称呼、声掛け等を日常業務の中で指導を行うと共に、係員相互による確認と意識向上を図っています。規定類及び各内規の習熟度を高めるため、集中的な講習を 11 月に実施しました。その他、内規で定める実務経験資格者を対象とした索道運転教育を実施。更に、外部講師を招いた研修を行い、サービス等の向上を図っております。

### (2) 緊急時対応訓練

ロープウェイが運行途中で動けなくなった事態を想定し、救助訓練を本年度も 6 月と 11 月に実施しました。なお、6 月は第 1 区線での訓練、11 月は第 2 区線で行い、新入社員を中心として本年度も非常時対応の再確認、相互点検を含め実施しました。

また 11 月には、定期受講者を中心に、高山市消防署上宝分署にて、AED の取扱い講習を受講。防災(消防)訓練においては、7 月に新穂高温泉駅で行い、11 月にはビジターセンター山楽館で実施しました。

11 月 第 2 区線での救助訓練



### (3) 安全のための投資と支出

平成30年度では、第1区線にて、緊張索交換工事（前回交換後15年経過）並びに原動滑車整備工事（軸受、伝動機器交換ほか）、鉄塔塗装工事を行いました。第2区線では、前年度に交換した曳索・平衡索の切詰工事を3回に分けて実施。又、鉄塔等で使用する受索輪のゴムライナーを購入し、特に4～10月に掛けて交換整備（計88輪）作業を集中して行いました。その他、2020年度に計画する第2区線客車更新に向けた事前整備及び経年使用資機材の購入確保、交換を含め、約4千万円を投資しました。今後も更なる安全・保安対策を計画的に実施し、安全性の向上を推進します。

## 6. ご連絡先

### 【 本 社 】

〒506-0053  
岐阜県高山市昭和町1丁目165-1

### 奥飛観光開発株式会社

TEL : 0577-33-0517  
FAX : 0577-34-7101  
ホームページ : <http://www.okuhi.jp/>

### 【 事業所 】

〒506-1421  
岐阜県高山市奥飛驒温泉郷  
神坂字巾平710番地79

### 新穂高ロープウェイ

TEL : 0578-89-2252  
FAX : 0578-89-2815

※ メールをご利用される方は、ホームページ内の「総合ご案内」よりお寄せ下さい。

令和元年（2019年） 月発行